



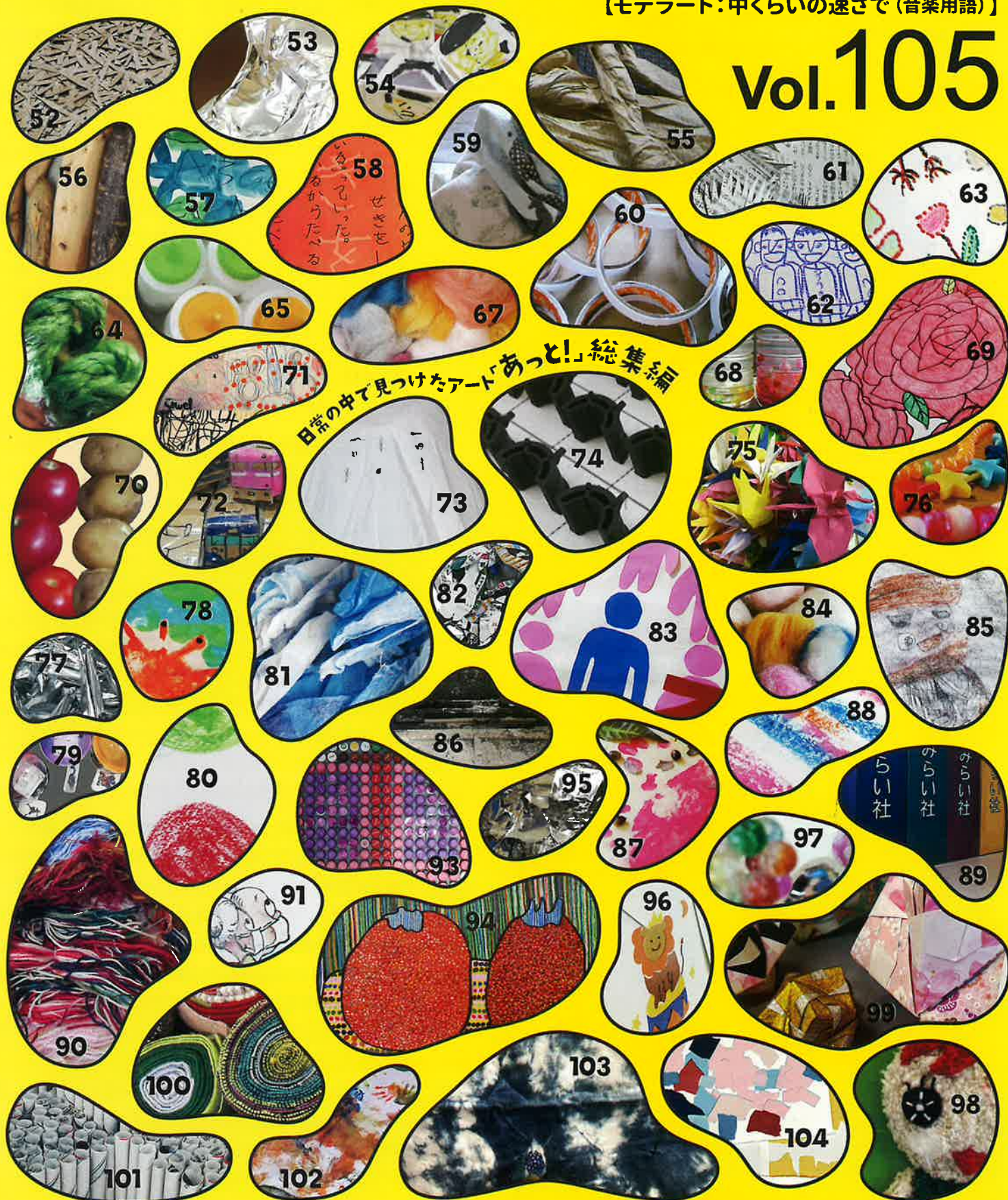
社会福祉法人藤沢育成会

INCLUSION
FUJISAWA

moderato

【モデラート：中くらいの速さで（音楽用語）】

Vol.105





藤沢育成会と
つながりのある団体に
スポットを当てます

13

今回は、藤沢市立富士見台小学校の校長・小林美奈子先生に
湘南ジョイフルが取り組んでいる学校外周清掃活動についてお話を伺いました。



藤沢市立 富士見台小学校

昭和42年、長後小学校と六会小学校のそれぞれ一部が分かれて開校。校章は富士山をかたどるとともに、富士見台小・長後小・六会小の3校がハートの形で繋がっていることを表しています。令和8年で創立60周年つまり「還暦」を迎えるという、歴史ある学校です。



に秋になるとたくさんの落ち葉が散って地面を覆います。もちろん用務員さんがせっせと掃いてくれるのですが、季節になればその作業に多くの時間を取られ、他の仕事もままらなくなってしまいます。そんな状況がある中、ボランティアの方々に助けていただくことで、用務員さんの負担を軽減することができ、私たちは本当にありがたく思っています。

しかしながら一昨年、そのうちのお一人が体調を崩されてしまって、活動をお休みされることになりました。どなたか清掃をお手伝いいただける方はいらっしゃらないか…と思っていたところ、市民センターのコミュニティ・ソーシャル・ワーカー(CSW)の方を通じて、湘南ジョイフルの皆さんをご紹介いただいたのです。学校にとってはまさに「救世主のような存在」です。

湘南ジョイフルの清掃活動について、
どんな印象をお持ちですか？

皆さんにお掃除に来ていただいたあとは本当にきれいになっています。その丁寧でしっかりした仕事ぶりにはいつも感心させられます。障がい者雇用で知られる日本理化学工業の大山社長のお話からも窺い知ることができましたが、障がいのある方々の仕事への取り組み方、その集中力の高さには驚くものがありますよね。

そして何より、いつも笑顔で楽しんで作業してくださっている姿から、自分自身の仕事への向き合い方を学ばずにはいられません。お掃除だけでなく、子どもたちの下校時間に合わせて来てくださっているのも、子どもたちの「安全のための見守り」も兼ねていただいています。

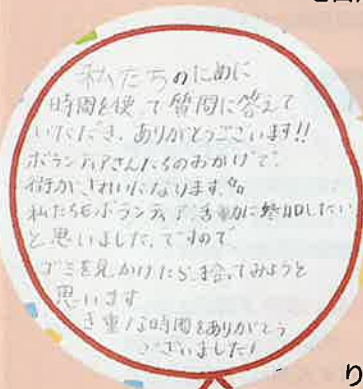
湘南ジョイフルの利用者と直接交流することはありますか？

下校していく子どもたちが、お掃除している湘南ジョイフルの皆さん方と顔を合わせたら自然に「こんにちは」「ありがとう」「さようなら」と明るいあいさつの声があがります。それが何よりもかけがえのない関わりだと思います。本校にも特別支援学級がありますが、その子どもたちが湘南ジョイフルの皆さん方の頑張っている姿を見て「ああ、私たちもこんなふうに社会に出て活躍できるんだな」というようなイメージを抱けるとすれば、本当に素晴らしいことだと思うのです。

さらに、保護者の皆さま向けの「学校だより」でも取り上げておりますし、PTAでも紹介させていただいていますので、湘南ジョイフルの皆さん方のことは子どもたちの枠を超えて知られています。

お子さま方から「お礼のメッセージ」をいただいたこともありましたね。

ええ、あれは2年生が制作したものです。毎年、生活科で「お世話になっている人たち」に感謝の気持ちを形にして表そうという企画です。自分たちを支えてくれるのは先生だけじゃないよ、ということに気づいてもらうことを目的にしています。



例えば用務員さんもそうだし、給食を作ってくださいる方も、もちろん湘南ジョイフルの皆さん方もそうです。「形にする」ということは大切で、それによって思いが心に刻まれ、記憶を呼び起こしやすくなります。何より、モノづくりに取り組んでいるときの子どもたちは、いきいきとして実に楽しそうです。喜んでいただけたらうれしいです。



いつも笑顔で楽しんで作業してくださっている姿から、
自分自身の仕事への向き合い方を学ばずにはいられません。

今後、学校との関わりをさらに深めていきたいと思っています。
学校として期待することはありますか？

今の時間帯ですと下校時のため子どもたちが参加することは難しいのですが、ゆくゆくは一緒に清掃活動ができればいいなと思っています。5年生は総合的学習の時間の一環でゴミ問題を扱い、江ノ島海岸の清掃活動に出かけたこともあります。そんなことが一緒にできればいいですね。

また、昨年は運動会の観覧にお越しいただきましたが、今年も見にいらしてもらえたら幸いです。



藤沢育成会は「インクルージョンふじさわ」を合言葉にして活動しています。多様性の大切さについての想いをお聞かせください。

富士見台小は通常学級と特別支援学級に加え、外国に繋がりのある子どもたちをお預かりする国際教室というものも設けています。この国際教室ですが、本校は藤沢市内で最も在籍人数が多く、校内は日本語だけでなく英語やタミル語などが日常的に飛び交っています。ムスリムの子たちもたくさんいます。それが当たり前の毎日です。大人は「多様性」という概念でそれを捉えて理解し、認めることを目指します。でも子どもたちにとっては、この日常が「普通のこと」。あえて大人が意識させる必要のないことなのです。いろんな人がいて、いろんなことをして、何かしてもらったら「ありがとう」を、そしていつも誰にも笑顔で「こんにちは」「さようなら」とあいさつ。大切にしていきたいです。



➡ 地域生活移行推進民間提案事業を受諾しました!!

今年度、神奈川県から「地域生活移行推進民間提案事業」を受託することになりました。この事業は、障害者支援施設からの地域生活移行を推進するために、障がい保健福祉圏域を単位とした民間法人からの柔軟な発想による提案事業を募集し、採択した事業に対して補助を行うといった内容の事業です。当法人としては、この事業において3つの目標を掲げ、これから具体的にいくつかのプロジェクトを立ち上げ取り組んでいきます。法人が今まで積み重ねてきた実績とノウハウを生かしながら、今後、魅力的な事業を進めていきたいと思ひます。

目標 地域移行促進のための3つの取り組みによって、施設に入所する重度の知的障害者の地域生活を支える支援体制の構築を実現します。

1 湘南東部圏域にある障害者支援施設において、地域をベースとした利用者支援を行える人材の育成

2 地域における「利用者サポーター」を増やす取り組みの推進

3 湘南東部圏域施設、関係機関との連携強化

現在進行中のプロジェクト

① 人材育成プロジェクト

地域生活をベースとした利用者ひとりひとりの希望する暮らしを実現するために必要な支援を組み立てられる職員の育成を推進していきます。

② 利用者サポータープロジェクト

施設周辺の地域住民との交流を図りながら、新たな社会資源の開拓、地域移行への理解の促進を行います。

③ 住まいのあり方プロジェクト

障がい当事者、職員、有識者、養護者等で構成される検討会の立ち上げを行い、現状の住まいサービスの改善を図ると共に、新しい住まいのサービスの在り方について検討します。

④ 経験・体験プロジェクト

施設、グループホーム、相談事業所等が連携し、地域生活を希望する利用者がスムーズにグループホームや単身生活を体験できる機会を創出します。

■ 法人HPにて今回のプロジェクトの概要をアップしています。そちらも是非ご参照ください。

社会福祉法人藤沢育成会 後援会「いずみ」 2024年(令和6年)度 収支決算書

	科目	2024年度予算	2024年度決算
収入の部	前年度繰越金	705,254	705,254
	会費		
	個人会員	1,000,000	1,112,780
	団体会員	65,000	40,000
	事業収入	10,000	0
	寄付金	0	0
支出の部	雑収入	1,000	271
	合計	1,781,254	1,858,305
	法人寄付	1,000,000	1,000,000
	事務消耗品費	5,000	5,000
	通信費	30,000	33,304
	印刷費	0	0
	会議費	0	0
	広報活動費	0	0
	事業活動費	10,000	0
	雑費	30,000	7,310
	業務委託費	20,000	20,000
	積立金繰り入れ	200,000	200,000
特別会計 地域生活推進積立金	予備費	486,254	486,254
	小計	1,781,254	1,751,868
	次年度繰越金	0	106,437
	合計	1,781,254	1,858,305

特別会計 地域生活推進積立金

収入	前年度繰越金	7,258,118
	2024年度繰り入れ	200,000
	2024年度利息	3,343
	合計	7,461,461
支出		0
		0
	手数料	0
	合計	0

よし介工芸館の 絵画レンタル

アート作品レンタルします!

ご利用者の作品(版画・絵画・造形など)を、個人・施設・店舗などで展示していただけるよう、貸し出しています。

自ら作品を選ぶ**セレクト・コース**と、よし介工芸館が設置場所に合わせておススメを選ぶ**お任せコース**の2種類があります。

原画 2,500円/月〜

お問合せ

よし介工芸館
TEL
0466-88-6722



YOSHISUKE.WAKAKUSA



よし介工芸館・アールスペースわかくさの様々な作品をアップしています。

現在、児童養護施設「幸保愛児園」に作品レンタルさせていただいています。ご興味がありましたら「よし介工芸館」まで、お気軽にお問い合わせください。

「あっと!」から「ほっと!」へ

次号より、表紙の企画「あっと!」が変更となります。「ほっと!」と題し、法人内のサービスを利用されている方を対象として、熱心に取り組んでいること、頑張っていること、アピールしたいことがある「ホットな人」を写真や記事にて紹介します。これからも魅力的な記事を発信していきたいと思ひますので、是非ご期待ください!!